

令和3年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

| | |
|-----|------------------------------------|
| I | スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び |
| II | マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成 |
| III | スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築 |
| IV | 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成 |
| V | スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成 |

道府県・政令市名【北九州市】

学校名【北九州市立田原小学校】

| | |
|------------------------|---|
| 1 実践テーマ | I・II・III・IV・V（複数選択可） |
| 2 実施対象者 (学年・人数) | 第5学年 98名（3クラス+特支学級1クラス） |
| 3 展開の形式 | <p>(1) 学校における活動</p> <p>① 教科名（ 総合的な学習の時間・国語科 ）</p> <p>② 行事名（ ）</p> <p>③ その他（ ）</p> <p>(2) 地域における活動</p> <p>① イベント名（ ）</p> <p>② その他（ ）</p> |
| 4 目標 (ねらい) | <p>○ 車いすを使って生活する苦労や工夫を知り、体験を通して考え、障害を持った方たちと共生する社会について考える。</p> <p>○ 車いすバスケットの選手の話の聞いたり、競技用車椅子の使用体験をしたりして、車いすバスケットボールを始めとするパラスポーツへの興味・関心の向上を図る。</p> |
| 5 取組内容 | <p>第1時</p> <p>○ 国語科「あなたはどうか考える」の学習の見通しをもつ。</p> <p>第2時・第3時</p> <p>○ 車いすバスケットボール競技者（福澤翔氏）から話を聞く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・足が不自由になったときの気持ち ・車いすバスケットボールを始めたきっかけ ・車いすバスケットボールの説明 ・車いすバスケットボールを続けてきた理由 ・義足について 等 <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> |

- 競技用車いすを使った体験活動をする。



- マット1枚分の段差を車いすであがる体験をする。



第4時～第7時

- 意見文の題材を決める。
- 作例を読み、書き表し方の工夫を見付ける。
- 理由や根拠について考える。
- 文章で取り上げる理由や事例を選び、友達と助言しあいながら他の立場から見直す。
- 意見文の構成を考える。
- 意見文を書く。

第8時

- 意見文を読みあい、感想を伝え合う。
- 学習を振り返る。

6 主な成果

- 福澤氏が車いすバスケットボールの魅力や面白さに加え、夢中になれることを見つける大切さを子供たちに伝えてくださり、自分の夢や目標をもととするきっかけになった。
- 車いすで段差を超えることの難しさを体験したことで、共生社会の大切さについて実感をもって考えることができた。

私は、今日の授業で、車いすバスケットボールは大変だということがわかりました。車いすに乗っていると、他の人とぶつかったりしてしまうので、少し怖いなと思いました。だけど、ふくざわ選手のロングシュートを見ると本当に車いすバスケットボールを楽しんでいるということも伝わってきました。そして、車いすに乗っている人は、スロープやエレベーターが無いと階段がのぼれなくて、行きたい場所に行けないということがわかり、不便だなと思いました。だから、街のバリアフリーが大切だと思いました。

福澤さんの話を聞いた後の児童の感想

| | |
|-------------------------|---|
| | <div data-bbox="549 114 1270 678" style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <p>ぼくは、〇〇さんはわがままではないと思います。 なぜなら、〇〇さんだつてなりたくて障がい者になつたわけではないからです。〇〇さんが車いすだから（階段しかない無人駅の利用ができないと）断るのはいけないと思います。 駅員さんにとっては正しい判断だと思うかも知れません。しかし、一般の人と同じように行動ができないからといって駅の利用ができなくないと言うのは乗車拒否になります。〇〇さんは、一人で□□駅に行くという「夢」をもちました。この「夢」は、この前、学校に来た福澤さんがとても大切だと言っていました。 このようなことから〇〇さんはわがままではないと思います。</p> </div> <div data-bbox="491 689 1347 768" style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 福澤さんの話をもとに共生社会について考えた児童の意見文 </div> |
| 7実践において工夫した点 （事業の特色） | ○ アレアスから競技用車いすを10台お借りすることができたため、児童一人一人が車いすの体験をすることができた。 ○ 行事としての位置づけではなく、国語科「あなたはこう考える」の学習の一環として行うことにした。来年度以降も年間カリキュラムや実施時期を検討しながら、本事業を有効に活用していきたい。 |
| 8主な課題等 | ○ 一昨年度の反省を生かし、トラックで車いすの運搬を行おうとしたが、雨だったため、自家用車4台を使ってアレアスに行くことになった。 ○ 今年度は5年生の児童が車いすバスケットボールの体験をし、3年生と特別支援学級の児童が、「ふうせんバレーボール」に取り組んだ。今後は、他の学年の児童も障がい者スポーツに取り組む機会を設定し、スポーツへの興味を深めたり共生社会についての理解を深めたりしていきたい。 |
| 9来年度以降の実施予定 | ○ 2022年は北京冬季オリンピックが開催されるため、ウィンターパラスポーツを紹介しつつ、障がい者スポーツの理解を深めていきたい。 |